

新左衛門の録音

安 原 仙 三

二世豊澤新左衛門の録音は二世春子太夫
鍛太夫の相三昧線として吹込んだものが主
で、其他は古靱太夫等との掛合阿古屋琴責
素人井上里貴司との吹込等です。春子太夫
と共に吹込んだものは明治三十九年から大
正二年迄、舊コロンビヤ、舊ビクター、ラ
イロヘン及びシンホニー（又はワシ）等で
之等は勿論皆喇叭吹込（舊吹込）です。面
敷にして四十三面ありますが、春子と異つ
て少しも出来にむらがありません。その中
で舊ビクター盤の壺坂（夢が浮世か）や紙
治が光つてゐます。又シンホニー盤の酒屋
（詫り入つたる）一面は春子との呼吸が合つ
て大變好い録音です。鍛太夫の合三昧線に
なつてからは舊吹込ではニットー盤とオリ

メント等に約四十面があります。此の内ニ
ットーの柳段切は新左衛門の健腕躍如たる
ものあり、又同じくニットーの合邦では繊
細な感情を遺憾なく弾き表はしてゐます。
電氣吹込（新吹込）になつてからは全部太
夫は鍛太夫で初期のショーワ盤からワシ
（後にコロンビヤ）を経てビクターへの大量
に移ります。ショーワ盤では玉藻前三段目
が宜敷い。コロンビヤ盤には取立てゝ見る
べきものはありませんがビクター盤には新
口村、鰻谷、帶屋、吉田屋、酒屋、紙治等
の傑作があります。新口、鰻谷、吉田屋は
殊に宜敷い。鍛太夫が大正年間の様に油が
乗つてゐたら素晴らしいものになつてゐた
ものと思ひます。此の外大物としてニット

ー盤に前申した阿古屋琴責十三枚二十六面
があります。太夫は重忠・古靱太夫、阿古
屋 鍛太夫、岩永・靜太夫（四世大隅）榛
澤・島太夫（三世呂太夫）ツレ芳之助（五
世彌三郎）琴及胡弓團六（三世寛治郎）と
云ふ豪華版です。舊吹込ではありますが新
左衛門の素晴らしい妙手がよく窺はれます
井上里貴司と云ふ素義が新左衛門の糸で舊
ビクターやワシ盤に一面、二面と云ふ短い
物許り十數種入れてゐます。之れは當時
（明治四十二年頃）色々な話題を残した音
盤だとの事です。此の外新左衛門、竹澤團
次郎（團六を経て今の寛治郎）の萬歳の曲
と云ふのが舊ビクター盤にあるとの事です
がどんなものか存じません。壺坂の萬歳唄
とも思はれないし、又新左衛門が語つたも
のでもありますまい。若し語つたものなら
ば珍品でせう。總じて新左衛門の妙音を偲
ぶには新ビクター盤が一番好いでせう。

（昭和十八・四・十八）